

## 特別調査事項

- 1 雇用者数の過不足感について
- 2 グローバル人材の育成状況について

### 1 雇用者数の過不足感について

現在の雇用者数の過不足感については、「適正」が66.5%と前回調査より3.5ポイント減少した。「過剰」は7.6%と前回比3.1ポイント減少した一方、「不足」は25.9%で6.6ポイント増加し、4.0ポイント増加した前回調査より不足感が広がっている。

業種別では、製造業は20.8%、非製造業は29.8%が「不足」と回答し、製造業で不足感の高い業種は「食料品」(37.3%)、「金属製品」(29.5%)、非製造業では運輸業(53.4%)、「飲食店」(43.9%)であった。

4月以降、賃金引き上げを行ったか聞いたところ、「実施予定なし」(45.3%)が最も多く、次いで「定期昇給」(24.9%)、「ベースアップ」(22.7%)、「賞与の増額・一時金の支給」(17.8%)、「9月以降行う予定」(4.6%)の順であった。賃上げを行った(予定含む)企業は54.7%であり、直近調査の「賃上げを予定」(26.5%)から28.2ポイント増加し、実際に賃上げを行った企業が大幅に増加した。

### 2 グローバル人材の育成について

「24年度以前に派遣」(2.3%)、「25年度に派遣」(2.1%)、「26年度以降に派遣(予定)」(2.3%)、「派遣(予定)なし」(95.3%)であった。

## 1 雇用者数の過不足感について

### (1) 現在の雇用者数の過不足感

「過剰」 7.6% 「適正」 66.5% 「不足」 25.9%

### (2) 職種別の過不足感

職種	「過剰」	「適正」	「不足」
ア 一般事務	7.0%	84.9%	8.1%
イ 営業・販売	3.4%	70.5%	26.1%
ウ 生産	8.6%	62.5%	28.9%
エ 技術研究職	2.2%	63.4%	34.4%

### (3) 今後、雇用者数に不足が生じたときの対応(複数回答)

「正規社員採用」	44.3%	「退職者再雇用・定年延長」	12.9%
「契約社員・パート・アルバイト採用」	44.8%	「既存の人員で残業」	24.8%
「派遣社員」	9.3%	「その他」	3.1%
「非正規社員を正規社員として採用」	3.2%		

### (4) 4月以降、賃金引き上げ等を行ったか(複数回答)

「ベースアップを行った」	22.7%	「その他」	2.4%
「定期昇給を行った」	24.9%	「9月以降行う予定」	4.6%
「賞与の増額・一時金の支給」	17.8%	「予定なし」	45.3%

## 2 グローバル人材の育成について

### 自社の社員を海外研修に派遣したか(複数回答)

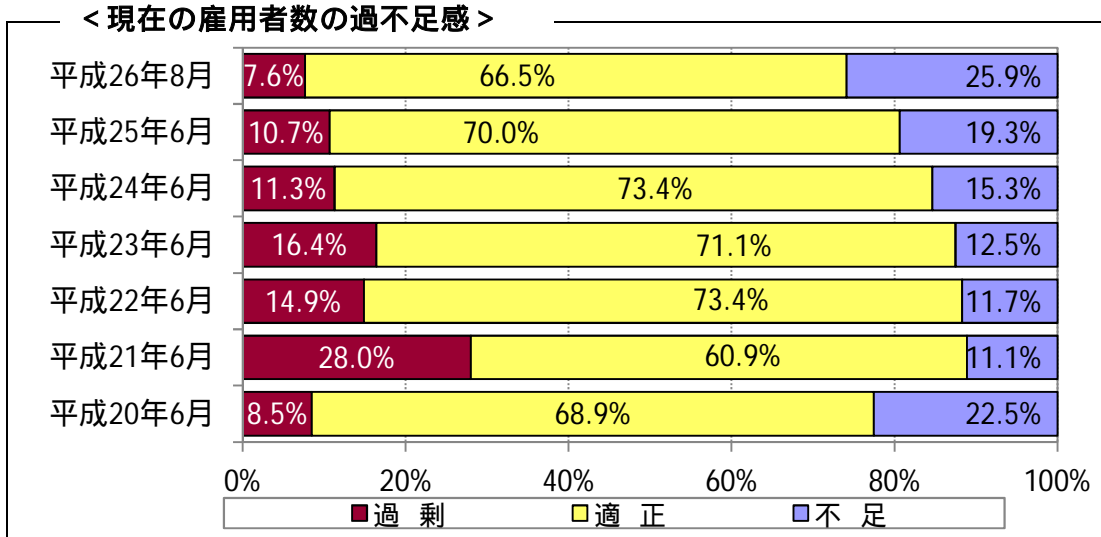
ア 24年度以前に派遣した	2.3%	ウ 26年度以降に派遣(予定を含む)	2.3%
イ 25年度に派遣した	2.1%	エ 派遣(予定)なし	95.3%

本文中の数値については、グラフの他、アンケート調査集計表(P35以下)を参照してください。

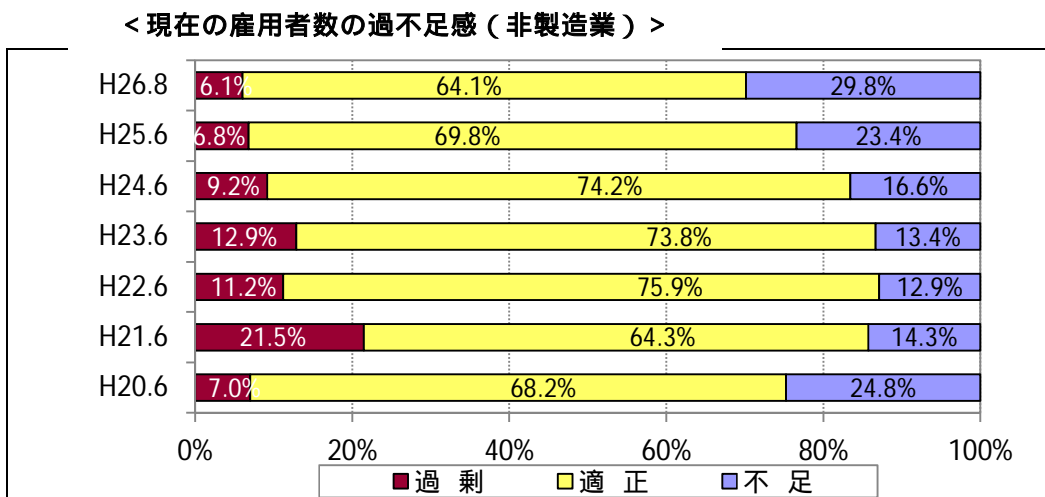
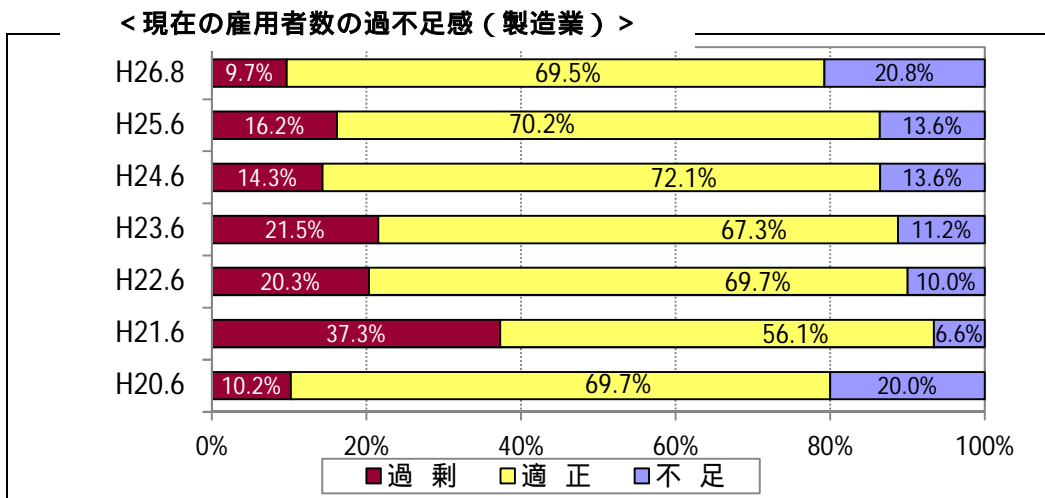
# 1 雇用者数の過不足感について

## (1) 現在の雇用者数の過不足感（集計表P35参照）

現在の雇用者数の過不足感について聞いたところ、「適正」が66.5%と前回調査（平成25年第1四半期調査）より3.5ポイント減少した。「過剰」は7.6%と前回比3.1ポイント減少した一方、「不足」は25.9%で6.6ポイント増加し、4.0ポイント増加した前回調査より不足感が広がっている。



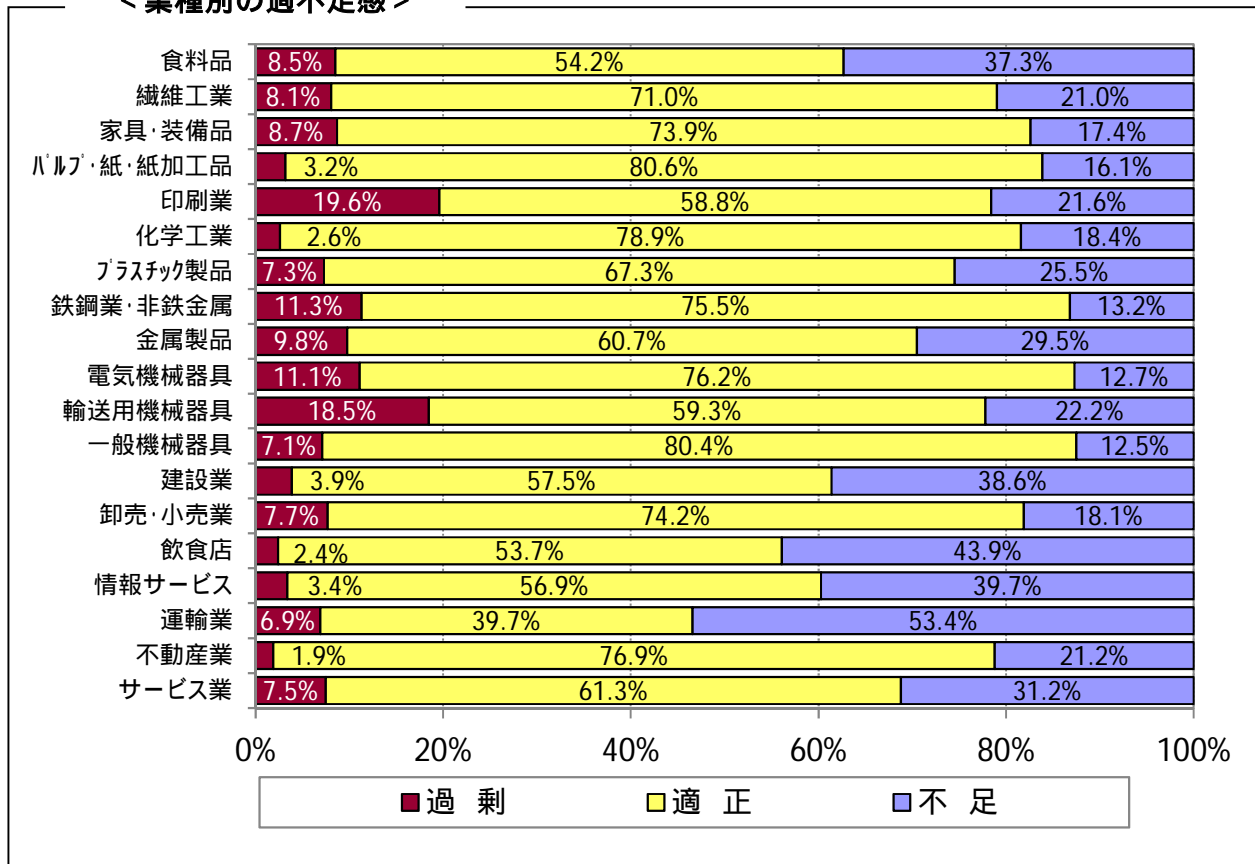
業種別に見ると、製造業、非製造業ともに「適正」が最も高い割合を占めるなかで、製造業、非製造業ともに「不足」が「過剰」を上回った。「不足」は製造業が20.8%と前回比7.2ポイント増、非製造業は29.8%と前回比6.4ポイント増であった。



過剰感の高い業種は「印刷業」(19.6%)、「輸送用機械器具」(18.5%)であるが、2業種とも不足感が過剰感を上回っている。不足感の高い業種は「運輸業」(53.4%)、「飲食店」(43.9%)となっている。

なお、今回調査ではすべての業種で「不足」が「過剰」を上回った。

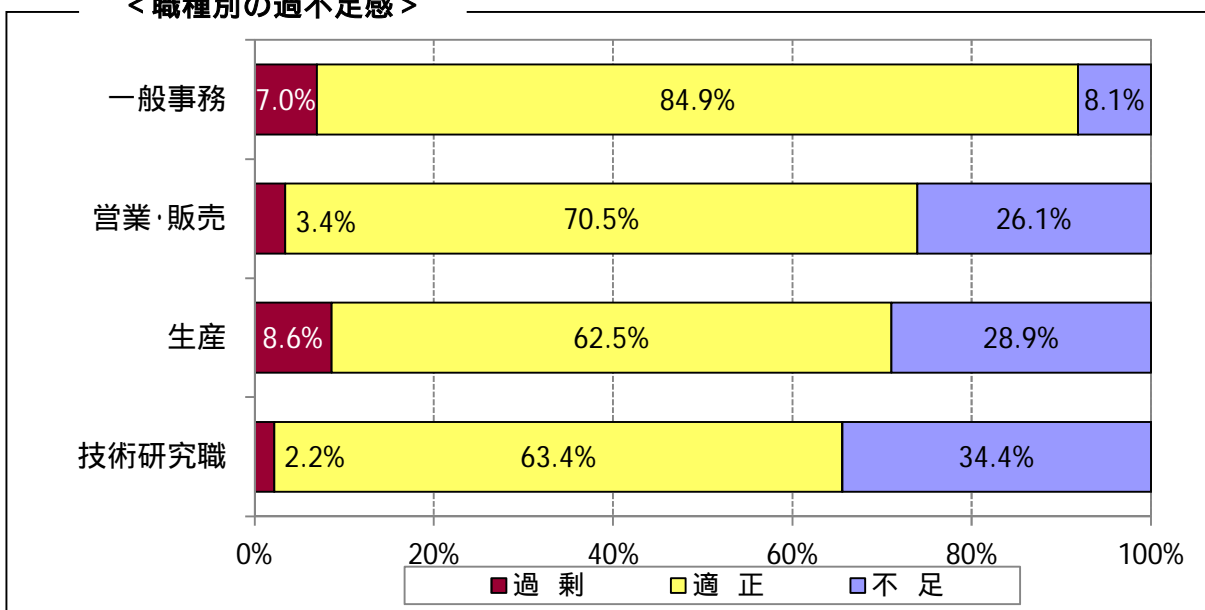
< 業種別の過不足感 >



(2) 職種別の過不足感 (集計表P36~39参照)

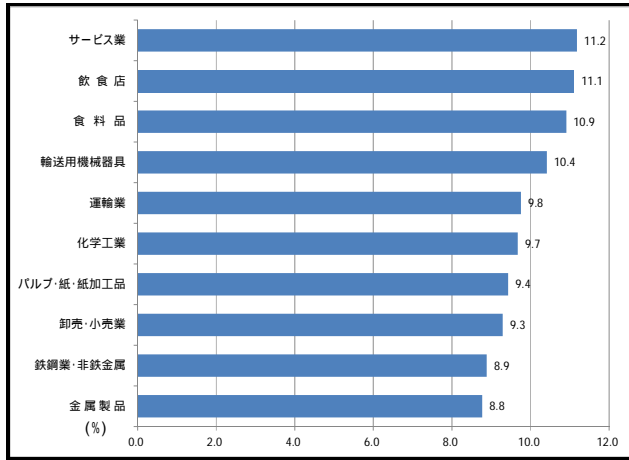
職種別の過不足感を聞いたところ、すべての職種で「適正」が最も高い割合を示したなかで、すべての職種で「不足」が「過剰」を上回った。不足感が高い職種は「技術研究職」が34.4%と最も高く、次いで「生産」28.9%、「営業・販売」26.1%、「一般事務」8.1%の順であった。

< 職種別の過不足感 >

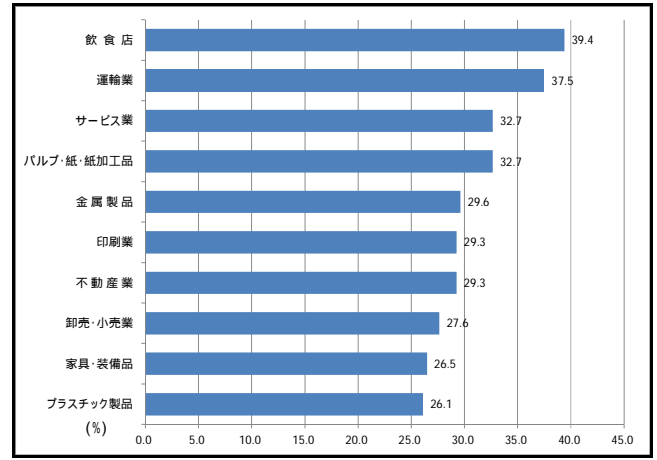


また、それぞれの職種の不足感が最も高い業種は、「一般事務」は「サービス業」で11.2%、「営業・販売」は「飲食店」で39.4%、「生産」は「運輸業」で46.7%、「技術研究職」は「建設業」で44.3%であった。

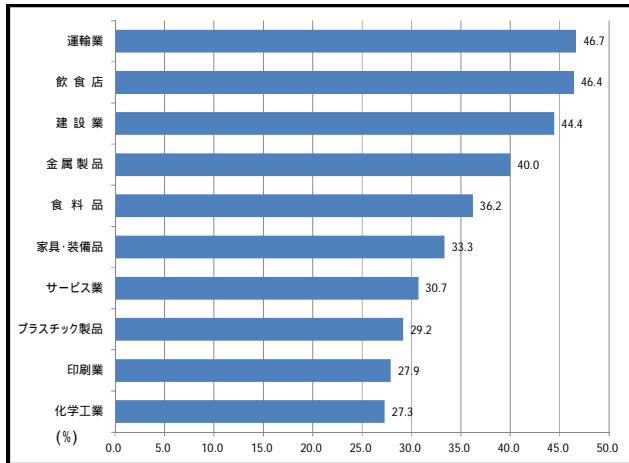
<不足感が高い業種（一般事務）>



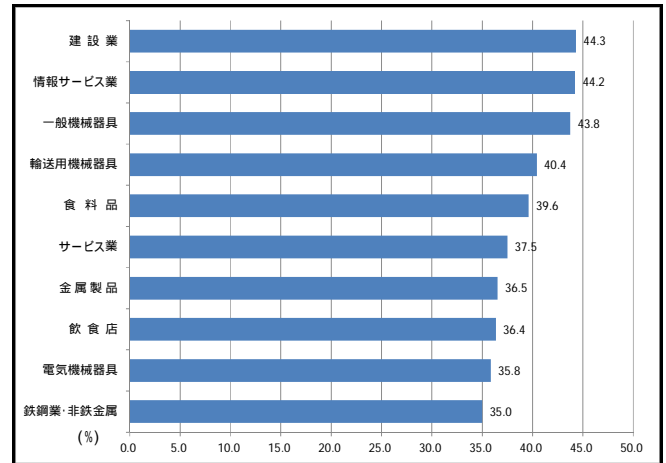
<不足感が高い業種（営業・販売）>



<不足感が高い業種（生産）>



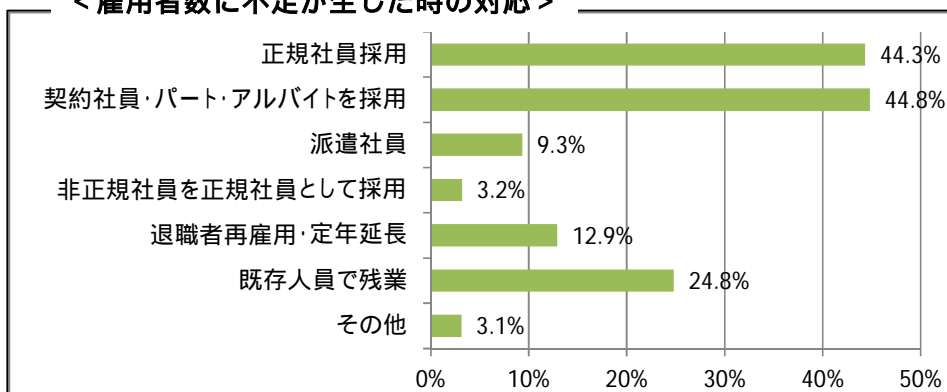
<不足感が高い業種（技術研究職）>



(3) 今後、雇用者数に不足が生じた時の対応【複数回答】（集計表P40参照）

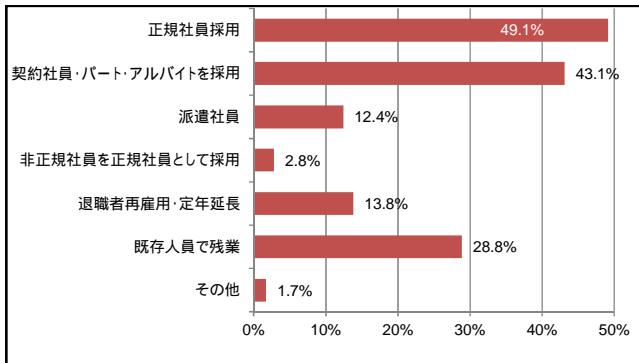
今後、雇用者数に不足が生じた時の対応を聞いたところ、「契約社員、パート・アルバイト採用」が44.8%と最も多く、次いで、「正規社員採用」（44.3%）、「既存の人員で残業」（24.8%）、「退職者再雇用・定年延長」（12.9%）、「派遣社員」（9.3%）、「非正規社員を正規社員として採用」（3.2%）、「その他」（3.1%）の順であった。正規社員採用は5.2ポイント上昇し、前回調査（平成25年第1四半期調査）39.1%より正規社員採用しようとする傾向がみられる。

<雇用者数に不足が生じた時の対応>

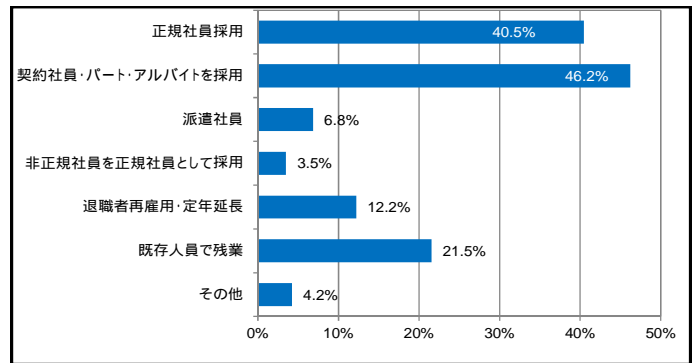


また、製造業では「正規社員採用」が49.1%と最も多く、非製造業では「契約社員、パート・アルバイト採用」が46.2%と最も多かった。

< 雇用者数に不足が生じた時の対応（製造業） >



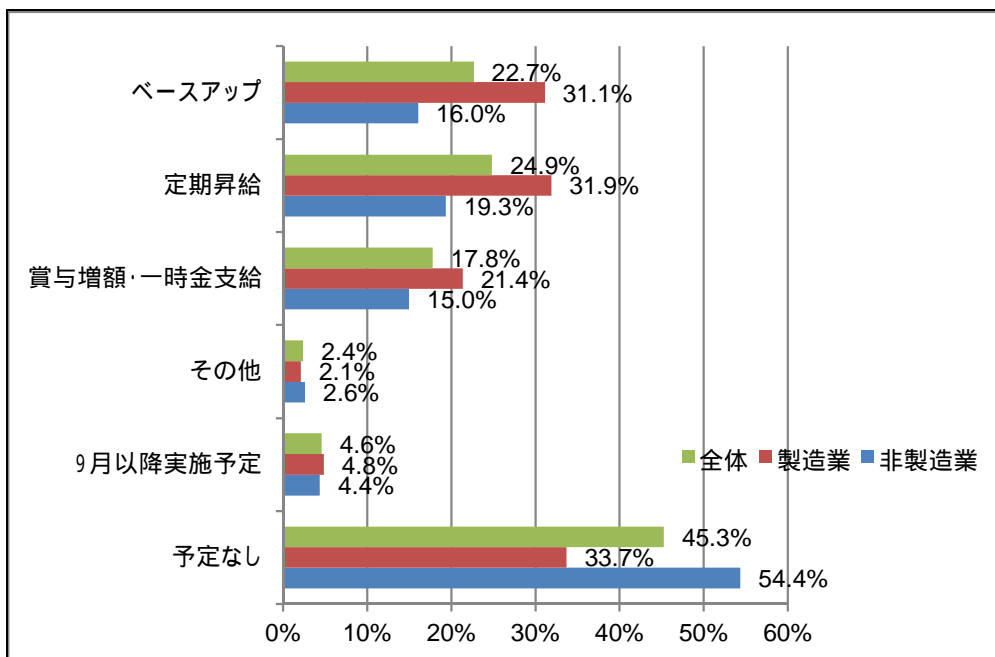
< 雇用者数に不足が生じた時の対応（非製造業） >



(4) 4月以降、賃金引き上げ等を行ったか【複数回答】（集計表P41参照）

4月以降、賃金引き上げを行ったか聞いたところ、「実施予定なし」（45.3%）が最も多く、次いで「定期昇給」（24.9%）、「ベースアップ」（22.7%）、「賞与の増額・一時金の支給」（17.8%）、「9月以降実施予定」（4.6%）、その他（2.4%）の順であった。賃上げを行った（予定含む）企業は54.7%であり、直近調査（平成25年第3四半期調査）の「賃上げを予定」（26.5%）から28.2ポイント増加し、実際に賃上げを行った企業が大幅に増加した。

< 賃金等引き上げの実施 >



## 2 グローバル人材の育成について【複数回答】（集計表P 4 2 参照）

自社の社員を海外研修に派遣したか聞いたところ、次のとおりであった。

- 「24年度以前に派遣」（2.3%）
- 「25年度に派遣」（2.1%）
- 「26年度以降に派遣（予定）」（2.3%）
- 「派遣（予定）なし」（95.3%）

